

研究課題名： 治療目的以外で尿道留置カテーテルを留置している患者の実態調査

1.研究の対象

3階西病棟 2018年4月～2020年3月の期間に入院し、尿道留置カテーテルを挿入していた方 1000名程度

2.研究目的・方法

【目的】

当院はがん専門病院で、当病棟は泌尿器科や整形外科、呼吸器外科の3科がメインです。治療（手術、化学療法、放射線療法）中の患者から終末期患者と看護ケアは多岐にわたります。整形外科領域では原発不明癌の骨転移の患者もおり原発が泌尿器がんと診断される患者も多いという特徴もあります。その為、安静制限があり尿道留置カテーテルの留置（以下留置とする）が必要な場合が多いです。また、術後の循環動態管理、化学療法に伴う尿量測定など留置も目的は明確です。治療以外で尿道留置カテーテルを継続するか、抜去するかについては看護師の判断によるところも多いです。治療上や安静制限（以下治療上とする）以外の留置目的が達成された時点で患者の思いを確認や尿道留置カテーテルの留置継続の有無について看護師間で検討されていたのか疑問に思いました。

そこで、本研究では入院した患者の中で、治療上以外の目的で尿道留置カテーテルを留置している患者はどのような患者であるか実態を明らかにすることを目的とし、治療上以外の目的で尿道留置カテーテルが留置されている患者を明らかにすることで、看護師が患者の尊厳を損なわず適切な排尿管理を支援するために必要な判断につなげたいと考えました。

【方法】

研究デザイン：実態調査研究（診療録調査）

【研究期間】

倫理審査委員会承認日～2021年11月30日

3.研究に用いる試料・情報の種類

3階西病棟 2018年4月～2020年3月の期間に入院し、尿道留置カテーテルを挿入していた方 1000名程度の情報

カルテからの情報収集：年齢、性別、疾患名、治療内容、入院期間、尿道カテーテル留置目的、留置日、抜去日、排泄行動、苦痛の有無、尿意の有無、介護者の有無、療養先、家族の思い、尿道カテーテル留置に対する思い

4.お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合にも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当 寺島 貴之

〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47-1

TEL 022-384-3151 (代表) (内線 974)

研究責任者：宮城県立がんセンター 3階西病棟 菅原みゆき